

Development of quality indicators for pregnancy and childbirth in patients with systemic lupus erythematosus

妊娠出産に関する全身性エリテマトーデス患者の診療の質指標開発

羽多野 美香

全身性エリテマトーデス(SLE)の女性患者にとって、妊娠・出産は重要なライフイベントです。挙児希望、妊娠中、授乳中の SLE 患者は、薬剤の使用や検査が制限され、疾患活動性や臓器障害が胎児の発育や母体合併症に影響を与える可能性があるため、診療の質が重要となります。診療の質指標(quality indicator: QI)は、医療の質を数値化して、課題や改善点を見出し、医療の質を向上させることが示されています。本研究では、日本で初めて SLE 患者の妊娠・出産に関する QI を開発することを目的としました。

RAND/UCLA 法に則り、QI 開発を行いました。まず、OVID MEDLINE と EMBASE で、現存する SLE の QI 開発論文および診療ガイドライン論文に該当する文献を、事前に決めた系統的検索式および組み入れ基準を用いて抽出しました。系統的文献レビューの結果、7525 本の論文を選出し、最終的に SLE の QI 開発論文 4 本、診療ガイドライン論文 27 本が組み入れられました (Figure1)。これらの論文から、妊娠・出産関連の項目に限定して、52 項目の QI 候補を抽出しました。その候補項目の適切性評価として、各科(リウマチ膠原病内科、腎臓内科、総合診療内科、産婦人科、小児科)の専門医 11 名から構成されたパネル委員による 2 回の適切性評価とパネル会議を実施しました。その結果、本 QI として適切であると合意を得られた 41 項目を最終的に選定しました(Figure2)。

今後は、本 QI セットを用いて関連施設において評価を行い、遵守率と妊娠合併症や転帰との関連を調査していく予定です。

<https://doi.org/10.1093/mr/roae029>

